

い誤譯や、不十分な點が多い。

自分は、原文と比較して讀んで見たが、第一章中にも、上記の Tidel wave のほかに、下の如き點が見つかった：—

第4～5頁 晴雨計と氣壓計としては如何？

第5頁 Atmospheric meteorological tide は大氣の潮汐でなく、大氣の氣象潮汐

第5頁 固體狀及びを 固體狀で とし、熔融狀乃至はを 熔融狀で とすべきである。

第6頁 天文學的の思索 は 空想とするが宜い。

第6頁第8行 ……見るであらう。でなしに、單に ……見る。で宜い。

第7頁第8行 正確は精密である。第9頁第1行にもある。

第7頁第12行 不注意な でなくて、最も不注意な である。

第8頁第2行 經驗に でなく 實際經驗に。

〃 第8行 必要に でなくて 非常に必要に。

第12頁第19行 スケールを變へて でなくて スケールを縮少して。

第13頁下より第5行 圓筒から取外した でなくて 圓筒から擴げた。

第14頁第13行 制限され でなくて 地形によつて制限され。

第15頁第10行 餘り現はれない でなくて 餘りうるさくない。

第16頁第1行 小さな でなくて ちよいとしたり。

第22頁第9行 Vaucher は、パウツェルでなくて、ヴァシエ

以下略するが、大體この調子で、誤譯もあり、又、原文にない不必要な語もある。——原文は敢へて名文ではないが、一種の達文で、愉快に讀ませられる書物である。譯文も、何とかして今少し達文であつてほしかつた。(山本)

新十字星の發見

ペガソス座に美しい十字星があります。今から二ヶ月程前に氣がついたのですが、實に均整のとれた美しいものです。星は南十字星のやうに四つで、しかも四つとも白鳥座のやうに光度は強くありませんが、形はこの方が良いと思ひます。星名は、十字の頭が β 星、横木の右が η 星、左が μ 星、足が ι 星です。この中でも、 β 星が頭にあつて光度が強いので良い眺めです。この十字は私はまだ星の本で讀んだことがありませんが、そんなに有名なのではないのでせうか？ 誰か、この星の事を御存知かと思ひますが、あまり普及して居ないのでしたら、南の南十字星と、エセの十字星が並んでゐる如く、白鳥の北十字星のそばに、これがあることを書いて下さい。このやうな種類の事は、もう星座を卒業された人にも大へん興味のあることと存じます。

11月25日

神戸 長谷川一郎

三本曰く。大變面白いです。只、惜しいのは、この十字星の光度が一般に弱いことです。